

# HP TFT5110R ユーザ ガイド



2002年12月（第2版）

製品番号 292491-192

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるもので、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

HP TFT5110Rユーザガイド

2002年12月（第2版）

製品番号 292491-192

---

# 目次

## このガイドについて

安全に使用していただくために .....	vii
装置の記号 .....	vii
ラックに関する注意 .....	ix
本文中の記号 .....	ix
HPのWebサイト .....	x

## 第1章

### 概要

特長 .....	1-2
オプション .....	1-2
フロント パネルのコンポーネント .....	1-3

## 第2章

### インストール

キットの内容 .....	2-1
必要な工具 .....	2-1
TFT5110Rを取り付ける .....	2-2
TFT5110Rにアクセスする .....	2-8
TFT5110Rを取り外す .....	2-8

## 第3章

### 操作

メイン メニュー .....	3-2
モード設定 .....	3-2
グローバル設定 .....	3-3
OSDのデフォルト メニュー .....	3-3
Auto Setup（自動設定） .....	3-3
Brightness（明るさ） .....	3-4
Contrast（コントラスト） .....	3-4
Image Adjust（画像調整） .....	3-5
Language .....	3-12
OSD Settings（OSD設定） .....	3-13
Settings restored on a Global basis（グローバルベースで復元される設定） .....	3-16
Settings restored on a Mode basis（モードベースで復元される設定） .....	3-16
Information（情報） .....	3-17
ステータス バー .....	3-17

## 第4章

### 手入れと保守

保守と運搬のガイドライン .....	4-1
ディスプレイの清掃 .....	4-2
TFT5110Rの運搬 .....	4-2
ラックに設置されているTFT5110Rの移動 .....	4-3

## 付録A

### 規定に関するご注意

規定識別番号 .....	A-1
各国別勧告 .....	A-2
Federal Communications Commission Notice .....	A-2
Canadian Notice (Avis Canadien) .....	A-4
Mouse Compliance Statement .....	A-4
European Union Notice .....	A-5
Taiwanese Notice .....	A-5

## 付録B

### 静電気対策

アースの方法.....	B-2
-------------	-----

## 付録C

### 電源コードについて

一般的な仕様.....	C-1
各国の条件.....	C-2

## 付録D

### 仕様

## 索引

---

# このガイドについて

このガイドでは、HP TFT5110Rのインストール手順および操作について説明します。

## 安全に使用していただくために

サーバに同梱の『安全に使用していただくために』をよく読んでから、製品のインストールを開始してください。

## 装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が表示されています。



**警告:** 以下の記号と組み合わせて使用され、危険があることを示します。警告事項に従わないと、けがをする場合があります。詳しくは、ご使用のマニュアルを参照してください。



装置に高電圧が発生する回路があることや、装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。修理はすべて、資格のある担当者に依頼してください。

**警告:** 感電を防止するために、カバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて、資格のある担当者に依頼してください。



**警告:** 装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、ユーザや使用現場の担当者が修理できる部品は入っていません。カバーは、絶対に開けないでください。

**警告:** 感電を防止するために、カバーを開けないようにしてください。

---



この記号が貼付されたRJ-45ソケットはネットワーク インタフェース接続を示します。

**警告:** 感電、火災または装置の損傷を防止するために、電話または電気通信用のコネクタをこのソケットに接続しないようにしてください。

---



装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

**警告:** 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

---



電源やシステムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

**警告:** 感電しないように、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。

---



重量kg  
重量lb

製品や機械にこの記号が付いている場合、1人で安全に取り扱うことができる重量を超えていることを示します。

**警告:** けがや装置の損傷を防ぐために、ご使用の地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。

---

## ラックに関する注意



**警告:** けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
- ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
- コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。

## 本文中の記号

本文中の以下の記号の意味を示します。



**警告:** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



**注意:** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの消失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

**重要:** 概念を説明するため、またはタスクを完了するための重要な情報を示します。

**注:** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。



## HPのWebサイト

HPのWebサイトでは、各種の製品情報を提供しています。HPのWebサイトは、<http://www.hp.com/jp>からアクセスできます。

HP TFT5110Rは、ユニットの背面にスイッチを増設できるだけの空間がある、ラックマウント型1Uフラットパネル モニタです。TFT5110Rは、15インチ（38.1cm）のカラー アクティブ マトリクス方式の薄膜トランジスタ（TFT）液晶ディスプレイ（LCD）を採用しています。

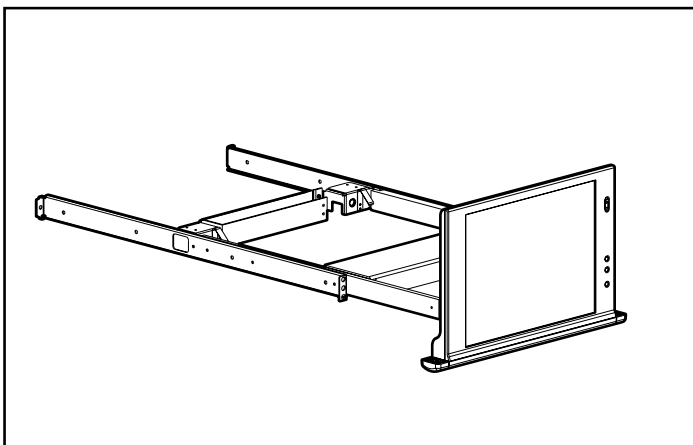


図1-1: TFT5110R

## 特長

TFT5110Rには以下の特長があります。

- ディスプレイ—表示領域15インチ（38.1cm）のディスプレイ。ラックのドアを閉じた状態で表示可能（ほとんどの場合）
- 解像度—1024 × 768（60Hz）以下の解像度でフルスクリーンサポートを追加
- VGAコネクタ—標準VGAコネクタを装備し、特別なグラフィックスアダプタカードは不要
- プラグアンドプレイ—システムでサポートしている場合、プラグアンドプレイ機能が使用可能
- オンスクリーンメニュー（OSD）—10の言語で表示可能
- 電源—DC12V/40W
- 電源オン/オフスイッチ—ディスプレイの電源をオンおよびオフ
- OSDのスクロールアップボタン—OSDメニューで上にスクロールしたり、機能を調節したりする場合に使用
- OSDのスクロールダウンボタン—OSDメニューで下にスクロールしたり、機能を調節したりする場合に使用
- OSDの起動ボタン—OSDメニューを起動、選択、および終了

## オプション

- Telcoキャビネット用ラックレールキット（製品番号: 257934-B21）—TFT5110Rを他社製ラックにインストールできるようにします。
- 他社製キャビネット用ラックレールキット（製品番号: 257935-B21）—TFT5110Rを他社製ラックにインストールできるようにします。

## フロント パネルのコンポーネント

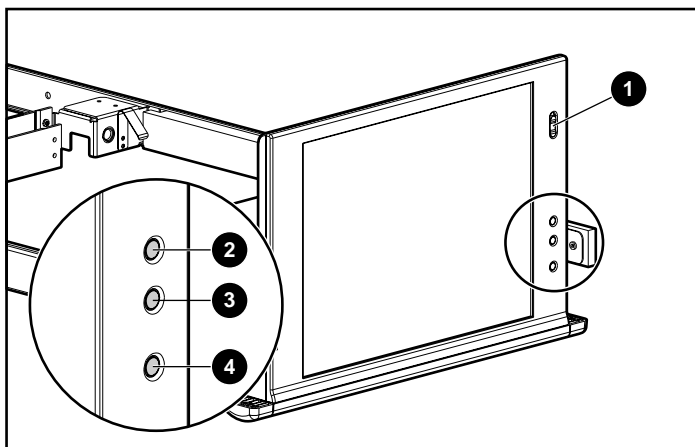


図1-2: TFT5110Rのフロント パネルのコンポーネント

番号	説明
1	電源オン/オフ スイッチ
2	OSDのスクロール アップ ボタン
3	OSDのスクロール ダウン ボタン
4	OSDの起動ボタン

この章では、TFT5110Rをラックに取り付けるためのインストール手順とセットアップ手順について説明します。

## キットの内容

アセンブリに必要な部品と数量を以下に示します。

- M6ケージ ナット (4)
- M6ネジ (8)
- 6-32ネジ (12)
- スライド付きマウンティング レール (2)
- ケーブル マネジメント アーム アセンブリ (1)
- TFT5110R (1)
- ロック プレート (2)

このキットには、取り付け作業を効率よく行うために、これら以外の部品が含まれる場合があります。

## 必要な工具

以下の工具が必要です。

- プラス ドライバ
- トルクス ドライバ (T-15)

## TFT5110Rを取り付ける

TFT5110Rを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. TFT5110R用の適切なラック位置を決定します。
2. 取り付ける位置の下にあるコンポーネントの上部からテンプレートを使って測定し、ラックフレームの前面および背面の、マウンティングレールとリア ケージ ナットを取り付ける位置に印を付けます。

**注:** ラックの背面でテンプレートを利用する場合は、次のコンポーネントの位置を揃えやすいように、ラックの印はラック テンプレート の一番上に付けてください。

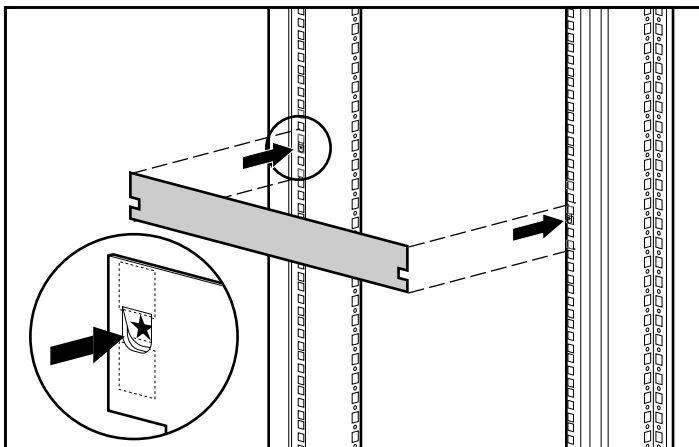


図2-1: 1Uテンプレートで測定する

3. ケージナットとマウンティング レールをラックに取り付けます。
  - a. 1個のケージ ナットを、ラック テンプレートでラック 背面の印を付けた穴に挿入します (1)。
  - b. レール マウント用 ブラケット タブをラック 背面の適切な穴に引っ掛け、1本のM6ネジを挿入します (2)。
  - c. フロント マウント用レール穴をラックに合わせ、2本のM6ネジを挿入します (3)。
  - d. 上記の手順を繰り返して、もう一方のマウンティング レールを取り付けます。

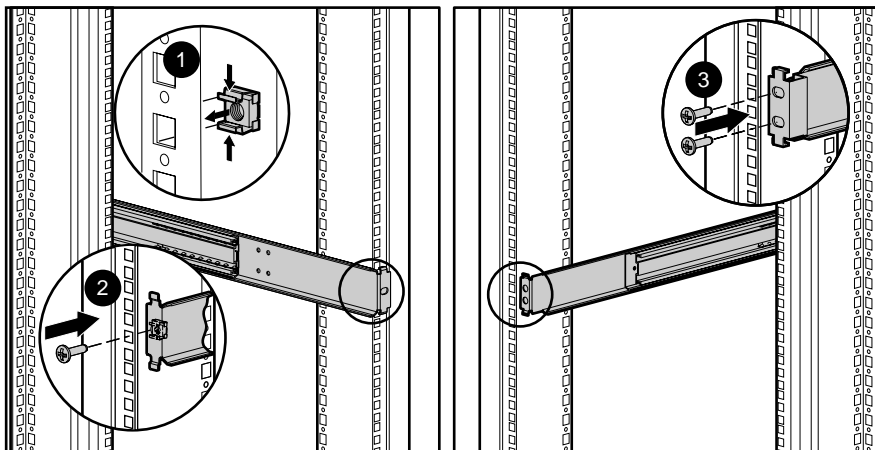


図2-2: ケージ ナットとマウンティング レールを取り付ける

4. ケーブル アクセス ホールがラックの右側を向くようにして、ケーブル マネジメント アーム アセンブリを各マウンティング レールに取り付けます。

**注:** ケーブルを正しく配線できるように、ケーブル アクセス ホールが右側になければなりません。

- a. マウンティング レールを引き出し、ケーブル マネジメント アーム アセンブリを挿入できるようにします。
- b. ケーブル マネジメント アーム アセンブリのネジ穴とマウンティング レールのネジ穴の位置を合わせます (1)。
- c. 各面に6-32ネジを挿入します (2)。
- d. ネジを締めます (3)。

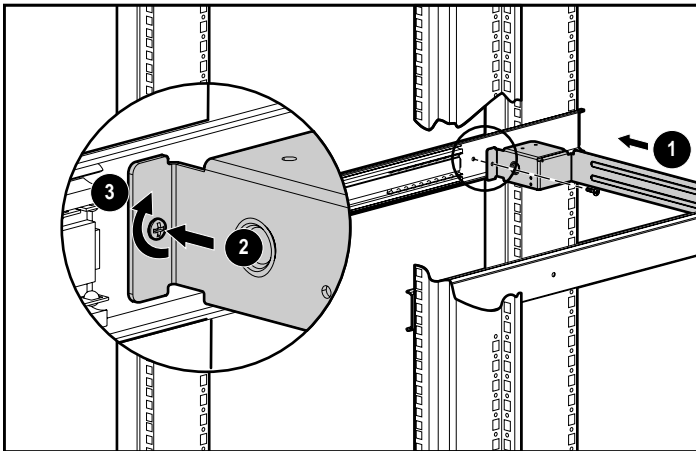


図2-3: ケーブル マネジメント アーム アセンブリを取り付ける



5. マウンティング レールにTFT5110Rを取り付けます。
  - a. スライドが正しい位置にロックされるまで完全に引き出します。
  - b. リリース メカニズムを押さえて、内側のスライド ブラケットを取り外します (1)。
  - c. 両側にネジを2本ずつ使用して、内側のスライド ブラケットをメタル トレイに取り付けます (2)。
  - d. (TFT5110Rに取り付けられている) 内側のスライド ブラケットの位置を、スライドと合わせます。
  - e. 内側のスライド ブラケットとスライドが正しい位置にロックされるまでTFT5110Rを押し込みます (3)。

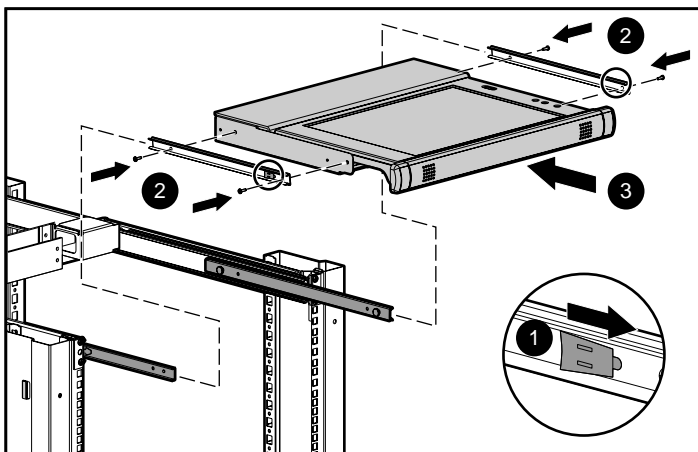


図2-4: TFT5110Rを取り付ける

6. 2本の6-32ネジを使用してケーブル マネジメント アーム アセンブリをTFT5110Rの背面に取り付けます。

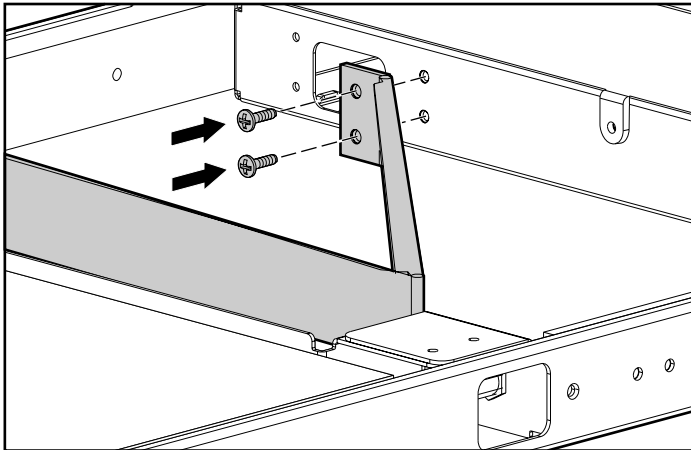


図2-5: ケーブル マネジメント アームを取り付ける

7. 電源ケーブルとビデオ ケーブルをケーブル マネジメント アーム アセンブリとマウンティング レールの開口部を通して配線します。

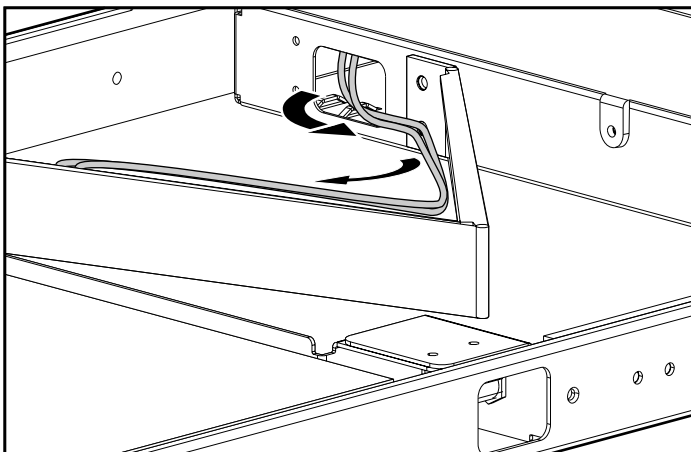


図2-6: ケーブルを配線する

8. TFT5110Rをラック フレームに挿入します。

- a. ロック メカニズムをスライドさせ、スライドのロックを外します (1)。



**注意:** TFT5110Rをその他のラックマウント型デバイスと正しく揃えて取り付けないと、接触によってユニット上部の表面が傷つくことがあります。マウンティング レールに6-32ネジを取り付けている間は、保護シートをユニットから剥さずに残しておいてください。

- b. TFT5110Rをラックに注意して押し込みます (2)。

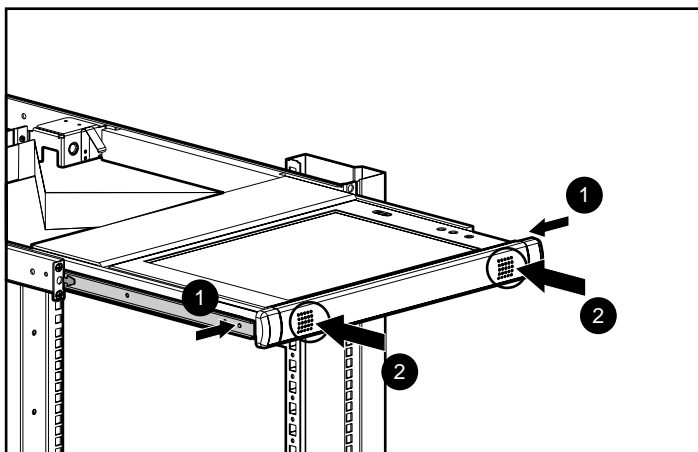


図2-7: TFT5110Rをラックに押し込む

## TFT5110Rにアクセスする

TFT5110Rにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. ユニットをそっと押し込んでスライドのロックを外し、スライドが正しい位置でロックされるまでユニットを完全に引き出します。
2. ディスプレイを希望の表示位置まで回転します。

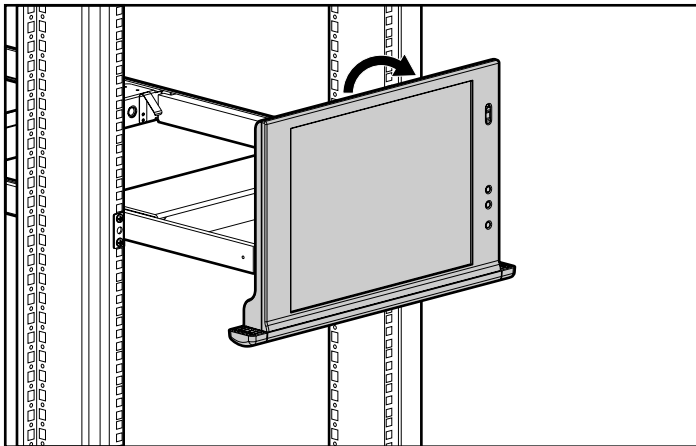


図2-8: TFT5110Rにアクセスする

## TFT5110Rを取り外す

TFT5110Rを取り外すには、「TFT5110Rを取り付ける」の項で説明した手順と逆の手順を行ってください。

オン スクリーン メニュー（OSD）のボタンを使用して、TFT5110RのOSDメニューを操作します。

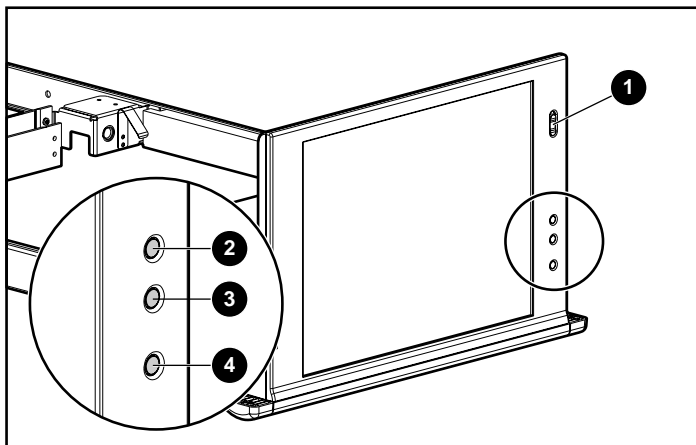


図3-1: OSDのボタン

表3-1: OSDのボタン

参照番号	コンポーネント	機能
1	電源オン/オフ スイッチ	ディスプレイの電源をオン/オフにします
2	OSDのスクロール アップ ボタン	OSDメニューで上にスクロールしたり、機能を調整したりする場合に使用します
3	OSDのスクロール ダウン ボタン	OSDメニューで下にスクロールしたり、機能を調整したりする場合に使用します
4	OSDの起動ボタン	OSDメニューを起動、選択、および終了します

## メイン メニュー

メイン メニューを起動するには、以下の手順に従ってください。

1. フロント パネルのOSDの起動ボタンを押します。画面にメイン メニューが表示されます。
2. モニタのフロント パネルの**ダウン** (-) ボタンおよび**アップ** (+) ボタンを使用し、設定したい項目を選択します。その後OSDの起動ボタンを押し、強調表示されたメニュー項目を起動します。

## モード設定

モード設定は、EEPROM ( Electrical Erasable Programmable Read Only Memory ) に格納され、機能をもう一度実行するか、工場出荷時の設定値を再設定することにより変更できます。

## グローバル設定

グローバル設定は、EEPROMに格納され、システムの電源投入時に復元されます。この設定値は、機能をもう一度実行するか、工場出荷時の設定値を再設定することにより変更できます。

注: モード設定とグローバル設定については、この章の以下の項を参照してください。

## OSDのデフォルト メニュー

OSDのデフォルト メニューを使用すると、以下の機能にアクセスできます。

- Auto Setup (自動設定)
- Brightness (明るさ)
- Contrast (コントラスト)
- Image Adjust (画像調整)
- Language
- OSD Settings (OSD設定)
- Settings Restored on a Global Basis (グローバル ベースで復元される設定)
- Settings Restored on a Mode Basis (モード ベースで復元される設定)
- Information (情報)
- Exit (戻る)

### Auto Setup (自動設定)

このオプションでは、以下の4つの機能を自動的に実行します。

#### Auto Level

Auto Levelは、自動的に画面の黒色と白色のレベルを調整します。Auto Levelはグローバル設定です。

## Auto Position

Auto Positionは、自動的に画面の位置を調整します。Auto Positionはモード設定です。

## Auto Phase

Auto Phaseは、自動的にフェーズを調整します。Auto Phaseはグローバル設定です。

## Auto Clock

Auto Clockは、自動的に入力クロックに合わせて、1ラインごとに出力クロックを調整します。Auto Clockはグローバル設定です。

## Brightness (明るさ)

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、バックライトの輝度を調整できるようになります。

Brightnessは、モード設定です。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

## Contrast (コントラスト)

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面のコントラストを調整できるようになります。コントラストを調整する場合、背景が白色であると、画面は識別しやすくなります。色の値が範囲を越えると、[Auto Level]機能が実行されます。

Contrastは、モード設定です。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。



## Image Adjust ( 画像調整 )

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

- **Horizontal Position ( 水平位置 )**
- **Vertical Position ( 垂直位置 )**
- **Image Enhancement ( 画質設定 )**
- **Color ( 色設定 )**
- **Exit ( 戻る )**
  - [Up(+)]は、Image Adjustメニュー リストで選択する項目を上に移動します。
  - [Down(-)]は、Image Adjustメニュー リストで選択する項目を下に移動します。
  - [Select]は、Image Adjustメニューの処理を実行します。

### Horizontal Position ( 水平位置 )

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の水平位置を調整できるようになります。

バーの中央の値は、**水平位置**の工場出荷時の設定値から求められます。値 = MINのとき、+の位置の選択範囲は、XGAとSXGAパネルで異なる場合があります。これは、MIN OSDの配置の物理的限界によるものです。このバーの範囲は、 8および (Htotal-Hpixel-9)になります。

**Horizontal Position**は、モード設定です。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

## Vertical Position ( 垂直位置 )

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の垂直位置を調整できるようになります。

バーの中央の値は、**垂直位置**の工場出荷時の設定値から求められます。バーの範囲は、 $1$ および  $(V_{total}-V_{pixel}-2)$ になります。

**Vertical Position**は、モード設定です。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

## Image Enhancement ( 画質設定 )

このオプションには、以下の3つの選択肢があります。

- **Context Sensitive** ( コンテキスト )
- **Text** ( テキスト ( シャープ ) )
- **Video** ( ビデオ ( スムース ) )

[Up(+)]は、**Image Enhancement**メニュー リストの選択する項目を上に移動し、その選択肢を有効にします。

[Down(-)]は、**Image Enhancement**メニュー リストの選択する項目を下に移動し、その選択肢を有効にします。

[Select]は、**Image Enhancement**メニュー リストを終了し、最後に選択した項目を新しいデフォルトに設定します。

## Context Sensitive ( コンテキスト )

これを選択すると、IQスケーリング エンジンが自動的にピクセル単位で調整され、テキストは鮮明になり、グラフィックス画像は滑らかになります。

## Text ( テキスト ( シャープ ) )

これを選択すると、鮮明度の高いフィルタを使用するようにIQスケーリング エンジンが設定されるので、テキストがより鮮明になります。

## Video ( ビデオ ( スムース ) )

これを選択すると、鮮明度の低いフィルタを使用するようにIQスケーリング エンジンが設定されるので、画像がより滑らかに表示されます。

## Color ( 色設定 )

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

- Color Temp ( 色合い )
- RGB Adjust ( RGB調整 )
- Black Level Adjust ( 黒レベル調整 )
- Advanced ( アドバンスト )
- Exit ( 戻る )

[Up(+)]は、Colorメニュー リストで選択する項目を上に移動します。

[Down(-)]は、Colorメニュー リストで選択する項目を下に移動します。

[Select]は、Colorメニューの処理を実行します。

## Color Temp (色合い)

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

注: Color TempのCool、Neutral、およびWarmは、モード設定です。

- **Cool (寒色)**

これを選択すると、3つのカラーチャンネルのすべてについて、**寒温色**のガンマテーブルがロードされます。

- **Neutral (中間色)**

これを選択すると、3つのカラーチャンネルのすべてについて、**中間色**温度のガンマテーブルがロードされます。

- **Warm (暖色)**

これを選択すると、3つのカラーチャンネルのすべてについて、**暖温色**のガンマテーブルがロードされます。

- **Exit (戻る)**

[Up(+)]は、Color Tempメニュー リストの選択する項目を上に移動し、その選択肢を有効にします。

[Down(-)]は、Color Tempメニュー リストの選択する項目を下に移動し、その選択肢を有効にします。

[Select]は、Color Tempメニュー リストを終了し、最後に選択した項目を新しいデフォルトに設定します。

## RGB Adjust ( RGB調整 )

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

**注:** RGB AdjustのRed、Green、およびBlueは、モード設定です。

- **Red ( 赤 )**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の**赤色**を調整できるようになります。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Green ( 緑 )**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の**緑色**を調整できるようになります。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Blue ( 青 )**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の**青色**を調整できるようになります。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Exit ( 戻る )**

- [Up(+)]は、RGB Adjustメニュー リストで選択する項目を上に移動します。
- [Down(-)]は、RGB Adjustメニュー リストで選択する項目を下に移動します。
- [Select]は、RGB Adjustメニューの処理を実行します。

## Black Level Adjust (黒レベル調整)

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

注: Black Level AdjustのRed、Green、およびBlueは、モード設定です。

- **Red (赤)**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の赤色に対する黒色のレベルを調整できるようになります。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Green (緑)**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の緑色に対する黒色のレベルを調整できるようになります。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Blue (青)**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、画面の青色に対する黒色のレベルを調整できるようになります。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Exit (戻る)**

- [Up(+)]は、Black Level Adjustメニュー リストで選択する項目を上に移動します。
- [Down(-)]は、Black Level Adjustメニュー リストで選択する項目を下に移動します。
- [Select]は、Black Level Adjustメニューの処理を実行します。

## Advanced (アドバンスト)

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

- **Phase Adjust (フェーズ調整)**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、アナログ信号のフェーズを調整できるようになります。

Advanced-Phaseは、モード設定です。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Clock Adjust (クロック調整)**

このオプションにより、ステータス バー内にスライダ バーが表示され、水平クロックを調整できるようになります。

Advanced-Clockは、モード設定です。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

- **Exit (戻る)**

- [Up(+)]は、Advancedメニュー リストで選択する項目を上に移動します。
- [Down(-)]は、Advancedメニュー リストで選択する項目を下に移動します。
- [Select]は、Advancedメニューの処理を実行します。

## Language

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

- **English**
- **Dutch**
- **French**
- **German**
- **Italian**
- **Japanese**
- **Portuguese**
- **Simple Chinese**
- **Spanish**
- **Swedish**

[Up(+)]は、**Language**メニュー リストで選択する項目を上に移動します。

[Down(-)]は、**Language**メニュー リストで選択する項目を下に移動します。

[Select]は、**Language**メニュー リストを終了し、選択された言語を有効にします。



## OSD Settings ( OSD設定 )

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

- OSD Position ( OSD位置 )
- OSD Size ( OSDサイズ )
- OSD Timeout ( OSD表示時間 )
- Exit ( 戻る )

[Up(+)]は、OSD Settingsメニュー リストで選択する項目を上に移動します。

[Down(-)]は、OSD Settingsメニュー リストで選択する項目を下に移動します。

[Select]は、OSD Settingsメニューの処理を実行します。

### OSD Position ( OSD位置 )

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

- Horizontal Position ( 水平位置 )
- Vertical Position ( 垂直位置 )
- Exit ( 戻る )

[Up(+)]は、OSD Positionメニュー リストで選択する項目を上に移動します。

[Down(-)]は、OSD Positionメニュー リストで選択する項目を下に移動します。

[Select]は、OSD Positionメニューの処理を実行します。

### **Horizontal Position ( 水平位置 )**

このオプションにより、OSDウィンドウの位置を画面上で水平に移動できます。

OSDのHorizontal Positionは、モード設定です。

- [Up(+)]は、ウィンドウを右に移動します。
- [Down(-)]は、ウィンドウを左に移動します。
- [Select]は、この位置を受け入れて、調整を終了してサブメニューに戻ります。

### **Vertical Position ( 垂直位置 )**

このオプションにより、OSDウィンドウの位置を画面上で上下に移動できます。

OSDのVertical Positionは、モード設定です。

- [Up(+)]は、現在の値を増加します。
- [Down(-)]は、現在の値を減少します。
- [Select]は、この位置を受け入れて、調整を終了してサブメニューに戻ります。

## OSD Size ( OSDサイズ )

このオプションには、以下のサブメニューがあります。

- Normal ( 標準 )
- Double ( 2倍 )

[Up(+)]は、OSD Sizeメニュー リストの選択する項目を上に移動し、その選択肢を有効にします。

[Down(-)]は、OSD Sizeメニュー リストの選択する項目を下に移動し、その選択肢を有効にします。

[Select]は、OSD Sizeメニュー リストを終了し、最後に選択した項目を新しいデフォルトに設定します。

OSD Sizeは、グローバル設定です。

### Normal ( 標準 )

OSDのサイズは、通常の文字の大きさに設定されます。

### Double ( 2倍 )

OSDのサイズは、2倍の文字の大きさに設定されます。OSDの位置は、画面上に見えるように必要に応じて調整できます。

## OSD Timeout ( OSD表示時間 )

このオプションにより、OSDディスプレイの右側にスライダ バーが表示され、**OSDのタイムアウト**を調整できるようになります。タイムアウトの範囲は、5秒間隔で5～55秒です。デフォルト設定は、10秒です。

OSD Timeoutは、モード設定です。

- [Up(+)]は、OSDが表示される時間を増加します。
- [Down(-)]は、OSDが表示される時間を減少します。
- [Select]は、現在の値を受け入れてスライダ バーを終了します。

## Settings restored on a Global basis (グローバルベースで復元される設定)

以下の設定は、グローバルベースで復元されます。

- Auto Level / RGB Adjust / Black Level Adjust / Contrast
- Brightness
- OSDのHorizontal Position
- OSDのVertical Position
- OSD Transparency
- OSD Size
- OSDのTimeout
- Color Temp
- Languageの選択 (復元されていない)

## Settings restored on a Mode basis (モードベースで復元される設定)

以下の設定は、モードベースで復元されます。

**注:** 表示されているモードが復元されます。

- Auto Position
- Image AdjustのHorizontal Position
- Image AdjustのVertical Position

## Information ( 情報 )

OSDは、以下のユニットの情報を表示します。

- Model number
- Micro Code Version
- EXIT

## ステータス バー

ステータス バーは、レート ( 1024 × 768 60Hz ) を表示します。

## 保守と運搬のガイドライン

この項では、TFT5110Rの保守と運搬のガイドラインについて説明します。

ユニットを過熱や損傷から守るために、以下の注意事項に従ってください。

- AC電源は、ユニット背面のラベルに記載された条件に適合するものを選んでください。
- 延長コードやマルチソケットに接続する場合には、コードに接続する機器の定格電流の合計が、延長コードやマルチソケットの許容電流の80%を超えないようにしてください。
- 電源コンセント、マルチソケット、または電源ソケットに負荷をかけ過ぎないようにしてください。システム全体の負荷が回路の定格電流の80%を超えないようにしてください。マルチソケットを使うときは、負荷がマルチソケットの入力定格の80%を超えてはなりません。
- ユニットを、ACコンセントの近くに設置します。電源コードをACコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張って抜かないでください。
- ユニットを掃除するときには、必ず電源コードをACコンセントから外します。液体クリーナやスプレー式クリーナは使わないでください。
- モニタのスロットと開口部をふさいだり、覆ったりしないでください。スロットと開口部は通気のために必要です。スロットと開口部を異物でふさがないでください。

- ユニットを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり足で踏んだりしないでください。
- ユニットは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。また、大容量のトランスやモータなど、強い磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
- ユニットを自分で修理しないでください。ユニットの調整は、このマニュアルに記載の方法で行ってください。ユニットが正常に動作しない場合、あるいは落としたり破損したりした場合には、HPのサービス窓口にお問い合わせください。

## ディスプレイの清掃

以下の手順でディスプレイを清掃してください。

1. ユニットの電源コードを外して電源を切ります。
2. 画面については、清潔な柔らかい布で拭いてパネルのほこりを取り除きます。

布で拭いただけでは画面の汚れがとれない場合には、静電気防止用のCRTクリーナを使います。



**注意:** ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニタを拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面が損傷します。また、LCD画面の清掃には水を使用しないでください。

## TFT5110Rの運搬

梱包箱は保管してください。モニタおよびユニットの組み合わせの移動または搬送を行うときにこの梱包箱が必要になることがあります。

## ラックに設置されているTFT5110Rの移動

ラックに設置されているTFT5110Rを移動するには、ロック プレートを、ユニットおよびラックの両側に取り付けることをおすすめします。

ロック プレートを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. マウンティング レールがロックされるまで、完全に引きのばします。
2. 前面側にあるプラスチック製ベゼルの端の裏側にロック プレートを合わせ、上下の穴がベゼルのピンと揃っているかどうかを確認します。
3. 1本の6-32ネジをロック プレートの中央の穴に挿入し（1）、ユニットに固定します。
4. 1本のM6ネジをロック プレートの突起部分の穴に挿入し（2）、ユニットをラックに固定します。
5. 手順2～4を繰り返して、他のロック プレートを取り付けます。

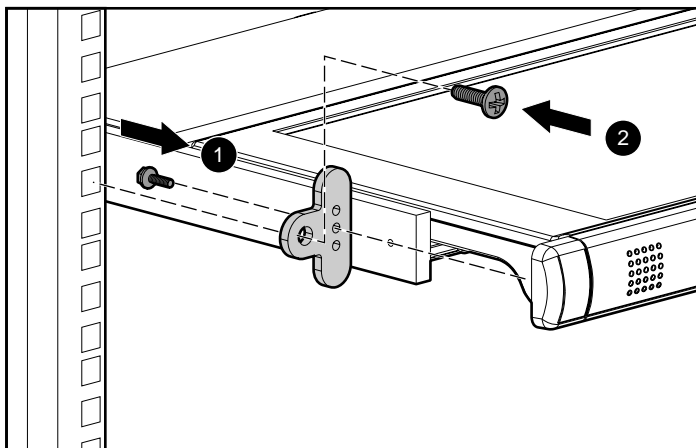


図4-1: ロック プレートを取り付ける



## 規定に関するご注意

ご使用になっている装置にVCCIマークがついていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCIマークがついていない場合には、次の点にご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

## 規定識別番号

規定準拠認定と識別用に、ご使用の製品には、固有のHPシリーズ番号が割り当てられています。シリーズ番号は、必要な認可マークおよび情報とともに、製品銘板ラベルに印刷されています。この製品の準拠情報を請求する場合は、必ず、このシリーズ番号を参照してください。このシリーズ番号は、この製品の市販名やモデル番号とは別のものです。

## 各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。

### Federal Communications Commission Notice

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (i.e., personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

The rating label on the device shows which class (A or B) the equipment falls into. Class B devices have an FCC ID on the label. Class A devices do not have an FCC ID on the label. Once the class of the device is determined, refer to the following corresponding statement.

#### Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

#### Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

## Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by HP Company may void the user's authority to operate the equipment.

## Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

## Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding your product, contact:

- HP Company  
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113  
Houston, Texas 77269-2000  
Or, call 1-800-652-6672

For questions regarding this FCC declaration, contact:

- HP Company  
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101  
Houston, Texas 77269-2000  
Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

## Canadian Notice (Avis Canadien)

### Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

### Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

## Mouse Compliance Statement

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

## European Union Notice



Products bearing the CE marking comply with the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community and if this product has telecommunication functionality, the R&TTE Directive (1999/5/EC).

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in parentheses are the equivalent international standards and regulations):

- EN 55022 (CISPR 22) – Electromagnetic Interference
- EN55024 (IEC61000-4-2, 3, 4, 5, 6, 8, 11) – Electromagnetic Immunity
- EN61000-3-2 (IEC61000-3-2) – Power Line Harmonics
- EN61000-3-3 (IEC61000-3-3) – Power Line Flicker
- EN 60950 (IEC 60950) – Product Safety

## Taiwanese Notice

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

## 静電気対策

システムをセットアップしたり、部品を取り扱う場合には、システムの損傷を防止するために守らなければならないことがあるので注意してください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システム ボードやその他の静電気に弱いデバイスが損傷して、耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

## アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピュータ本体にアースバンドをつなぎます。アース バンドは柔軟な帯状のもので、アース コードは、少なくとも1M  $\pm$  10%の抵抗のものを使用します。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
- 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドをつけます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドをつけます。
- 作業工具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットがついた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がないときは、HPのサービス窓口にお問い合わせください。

注: 静電気について詳しくは、HPのサービス窓口にお問い合わせください。

---

## 電源コードについて

電源コードは、ユーザが装置を購入した国内で使用するために必要な仕様を満たしています。電源選択スイッチにより、ご使用の機器に適切な電圧を選択できます。

サーバを他の国で使用する場合は、電源コードはサーバを使用する国の仕様を満たしていなければなりません。電源コードの仕様については、HPのサービス窓口にお問い合わせください。

### 一般的な仕様

以下の仕様は、すべての国で適用されます。

- 電源コードの長さは、1.8～3.7メートルでなければなりません。
- 電源コードは、使用する国の承認機関で認可されたものでなければなりません。
- 電源コードの最小許容電流および公称定格電圧は、各国の電源システムの要求仕様によって異なりますが、10A、125VACまたは10A、250VACでなければなりません。
- カブラは、コンピュータのアウトレットに結合できるように、EN60320/IEC320標準シートC13コネクタの機械的形狀を満たすものでなければなりません。



## 各国の条件

表C-1を使用して、ユーザの国の承認機関を識別してください。

**表C-1: 国別の電源コードの仕様**

国名	承認機関	注
オーストラリア	EANSW	1
オーストリア	OVE	1
ベルギー	CEBC	1
カナダ	CSA	2
デンマーク	DEMKO	1
フィンランド	SETI	1
フランス	UTE	1
ドイツ	VDE	1
イタリア	IMQ	1
日本	経済産業省 (METI)	3
ノルウェー	NEMKO	1
スウェーデン	SEMKO	1
スイス	SEV	1
英国	BSI	1
米国	UL	2

- コード部分は、導線サイズが $1.0\text{mm}^2$ のHAR（ハーモナイズド）タイプH05VV-F、3線のものであればなりません。電源コードの取付部分（カブラおよびプラグ部分）は、必ずご使用になる国での承認機関の承認マークが付いていなければなりません。
- コード部分は、導線がSVTタイプまたは同等の、3線であればなりません。プラグ部分は、NEMA 5-15P（15A、125V）準拠の2極、アース端子付きタイプである必要があります。
- カブラ、コード部分およびプラグ部分には、日本の電気用品取締法に基づくTマークと登録番号または電気用品安全法に基づくPSEマークと検査機関名が付いていることを確かめください。コード部分は、導線サイズが $1.0\text{mm}^2$ の、VCTまたはVCTF、3線コードでなければなりません。プラグ部分は、JIS規格C8303（7A、125V）準拠の2極、アース付きの形状でなければなりません。

表D-1: TFT5110Rの仕様

ディスプレイ	38.1cm	15インチ
タイプ	フラット パネル、アクティブ マトリクス方式 TFT LCD	
表示可能画像サイズ	38.1cm	15インチ
画面処理	グレア防止コーティング 処理透明プロテクタ	
最大重量	4.8kg	
最大寸法		
高さ	3.02cm	
奥行	40.05cm	
幅	42.06cm	

## A

Advanced (アドバンスト) 3-11  
Auto Clock 3-4  
Auto Level 3-3  
Auto Phase 3-4  
Auto Position 3-4  
Auto Setup (自動設定) 3-3

## B

Black Level Adjust (黒レベル調整) 3-10  
Brightness (明るさ) 3-4

## C

Cables A-3  
Canadian Notice (Avis Canadien) A-4  
Class A Equipment A-2、A-4  
Class B Equipment A-2、A-4  
Clock Adjust (クロック調整) 3-11  
Color Temp (色合い) 3-8  
Color (色設定) 3-7  
Context Sensitive (コンテキスト) 3-7

## E

European Union Notice A-5

## F

Federal Communications  
Commission Notice A-2

## H

Horizontal Position (水平位置) 3-5、3-14  
HPシリーズ番号 A-1  
HPのWebサイト x

## I

Image Adjust (画像調整) 3-5  
Image Enhancement (画質設定) 3-6

## L

Language 3-12

## M

Modifications A-3  
Mouse Compliance Statement A-4

## O

### OSD

Information (情報) 3-17

ステータス バー 3-17

OSD Position (OSD位置) 3-13

OSD Settings (OSD設定) 3-13

OSD Size (OSDサイズ) 3-15

OSD Timeout (OSD表示時間)  
3-15

## P

Phase Adjust (フェーズ調整)  
3-11

## R

RGB Adjust (RGB調整) 3-9

## S

Settings restored on a Global basis  
(グローバルベースで復元  
される設定) 3-16

Settings restored on a Mode basis  
(モードベースで復元され  
る設定) 3-16

## T

Taiwanese Notice A-5

Text (テキスト(シャープ))  
3-7

TFT5110R

アクセス 2-8

移動 4-3

運搬 4-2

オプション 1-2

解像度 1-2

操作 3-1

特長 1-2

取り外す 2-8

フロントパネルのコン

ポーネント 1-3

保守と運搬 4-1

## V

Vertical Position (垂直位置)  
3-6、3-14

Video (ビデオ(スムーズ))  
3-7

## あ

アースの方法 B-2

## い

インストール  
TFT5110R 2-1

## え

液晶ディスプレイ (LCD) 1-1

## お

オプション 1-2

オン スクリーン メニュー  
(OSD)  
Contrast (コントラスト)  
3-4

Horizontal Position (水平  
位置) 3-5、3-14

Image Adjust (画像調整)  
3-5

Vertical Position (垂直  
位置) 3-6、3-14

## か

ガイドライン、保守と運搬 4-1

概要 1-1

各国別勧告 A-2

## き

キットの内容 2-1  
規定識別番号 A-1  
規定に関するご注意 A-1  
    HPシリーズ番号 A-1  
    規定識別番号 A-1

## く

グローバル設定  
    オン スクリーン メニュー  
        3-3

## け

ケーブル マネジメント アーム  
    取り付け 2-6  
    配線 2-6

## こ

コントラスト 3-4

## せ

静電気対策 B-1

## そ

装置の記号 vii

## て

ディスプレイ  
    OSDの起動ボタン 1-3  
    OSDのスクロール アップ  
        ボタン 1-3  
    OSDのスクロール ダウン  
        ボタン 1-3  
    解像度 1-2

電源オン/オフ スイッ  
    チ 1-3

ディスプレイの清掃 4-2

デフォルト メニュー、  
    OSD 3-3

電源コード C-1  
    各国の条件 C-2  
    カブラ C-1  
    許容電流 C-1  
    仕様 C-1、C-2  
    承認機関で認可 C-1  
    定格電圧 C-1  
    長さ C-1  
    ブラグ、仕様 C-2

## と

特長 1-2  
    OSDの起動ボタン 1-2  
    OSDのスクロール アップ  
        ボタン 1-2  
    OSDのスクロール ダウン  
        ボタン 1-2  
    VGAコネクタ 1-2  
    解像度 1-2  
    ディスプレイ 1-2  
    電源 1-2  
    電源オン/オフ スイッチ  
        1-2  
    ブラグ アンド プレイ 1-2  
取り付け  
    ケー ジ ナット 2-3  
    ケーブル マネジメント  
        アーム アセンブリ 2-4  
    マウンティング レール  
        2-4  
    ロック プレート 4-3

## は

薄膜トランジスタ (TFT) 1-1

## ひ

必要な工具 2-1

## ふ

プラグ、仕様 C-2

フロント パネルのコンポーネント 1-3

## ほ

保守と運搬のガイドライン 4-1

ボタン

OSDの起動 1-3

OSDのスクロール アップ  
1-3

OSDのスクロール ダウン  
1-3

本文中の記号 ix

## め

メイン メニュー

オン スクリーン メニュー  
3-2

メニュー項目

選択 3-2

## も

モード設定 3-2